

アプリ利用ガイド



iOS版

※ iOSは、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

※本書を無断で他に転載・複写することを禁じます。

ステータス画面



① 現在のステータス表示

現在のアプリのステータスを表示します。

② 現在の接続状況

アプリセキュリティルーターへの接続状況を表示します。

③ タップでp.2のデバイス画面へ

④ タップでp.6の詳細画面へ

デバイス画面



① 現在の使用しているデバイス情報

現在使用されているデバイスの情報が表示されます。

② 現在ルーターに接続しているデバイス一覧

現在ルーターに接続しているデバイスの情報が表示されます。

③ タップでp.4のデバイス詳細画面へ

④ 未接続デバイス一覧

タップすると過去に接続たことがあり、現在ルーターに接続されていないデバイス一覧が表示されます。

⑤ タップでp.2のステータス画面へ

⑥ タップでp.6の詳細画面へ

デバイス詳細画面



① デバイスの詳細情報

デバイスのIPアドレスなどの詳細な情報が表示されます。

② インターネット接続の許可/拒否を切り替え

オンにすることで対象のデバイスのインターネット接続をブロックできます。オフにするとブロックを解除できます。

③ タップでp.5のデバイス編集画面へ

デバイス編集画面



① デバイスの表示名変更

表示されるデバイス名を変更できます。
タップすると編集が可能です。

② デバイスアイコンの変更

表示されるデバイスのアイコンを変更できます。
任意のアイコンをタップすると変更できます。

③ 設定の保存

タップすると設定を保存できます。

詳細画面



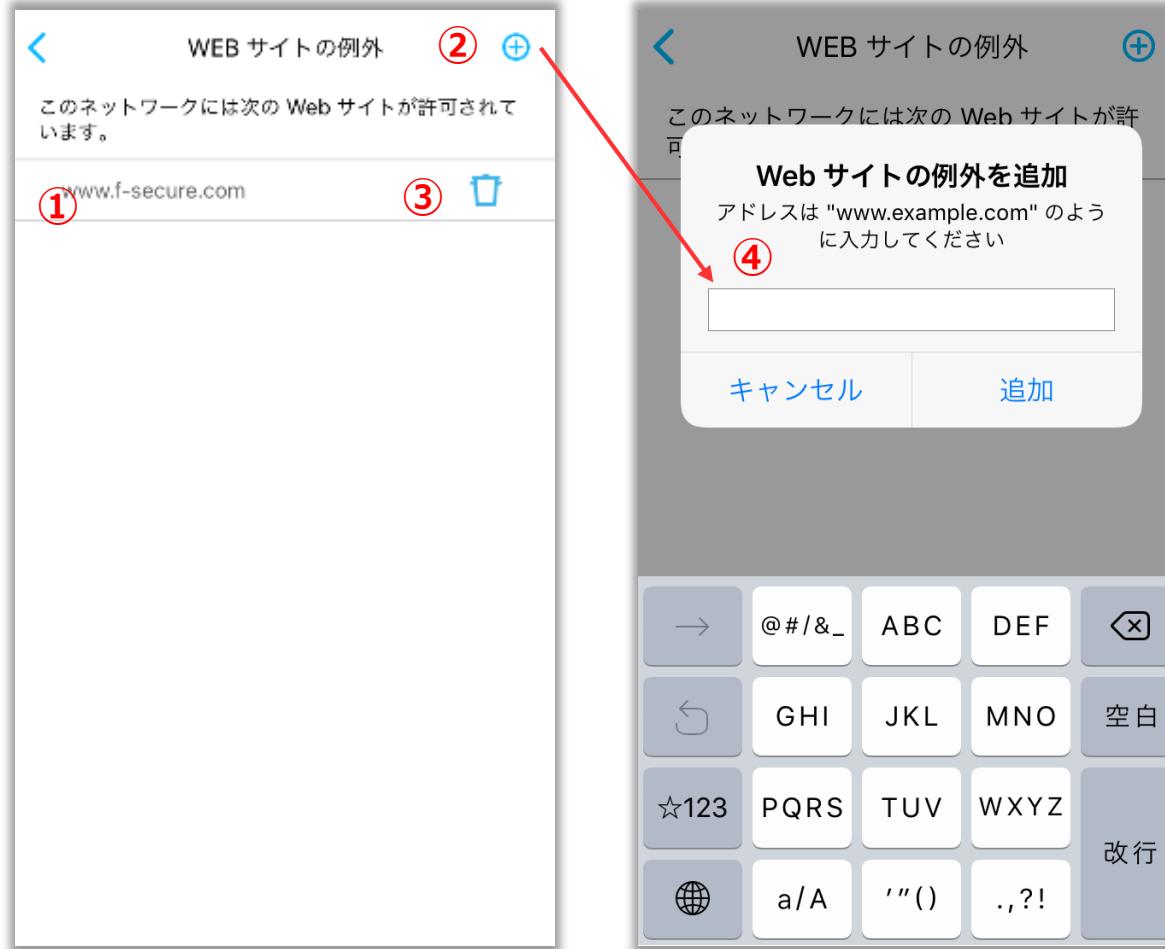
- ① タップでp.7の設定画面へ
- ② タップでp.23のイベントログ画面へ
- ③ タップでp.24のプライバシー画面へ
- ④ タップでp.25のフィードバック画面へ
- ⑤ タップでp.26のヘルプ画面へ
- ⑥ タップでp.27のライセンス画面へ
- ⑦ タップでp.28のバージョン情報画面へ
- ⑧ タップでp.2のステータス画面へ
- ⑨ タップでp.3のデバイス画面へ

設定画面（セキュリティタブ）



- ① タップでp.11のハードウェアタブへ
- ② タップでp.15のネットワークタブへ
- ③ タップでデバイス保護機能の有効/無効を切り替え
オンにすると接続されたデバイスの保護機能を有効にします。
オフにすると無効になります。
- ④ タップでトラッキング対策の有効/無効を切り替え
オンにするとトラッキング対策機能を有効にします。
オフにすると無効になります。
- ⑤ タップでブラウザ保護の有効/無効を切り替え
オンにするとブラウザ保護機能を有効にします。
オフにすると無効になります。
- ⑥ タップでデバイスタイプ識別機能の有効/無効を切り替え
オンにすると接続したデバイスタイプ識別機能を有効にします。
オフにすると無効になります。
- ⑦ タップでp.8のWebサイトの例外登録画面へ
- ⑧ タップでp.9のポート転送設定画面へ

WEBサイトの例外登録画面



① 現在登録されている例外サイトの一覧
登録した例外サイトの一覧が表示されます。

② タップで例外サイトの追加登録
不正なWEBサイトと表示されてしまった
サイトを例外として登録できます。
追加すると①の一覧に表示されます。

③例外サイトの削除
登録した例外サイトを削除できます。

④例外サイトのURLを入力

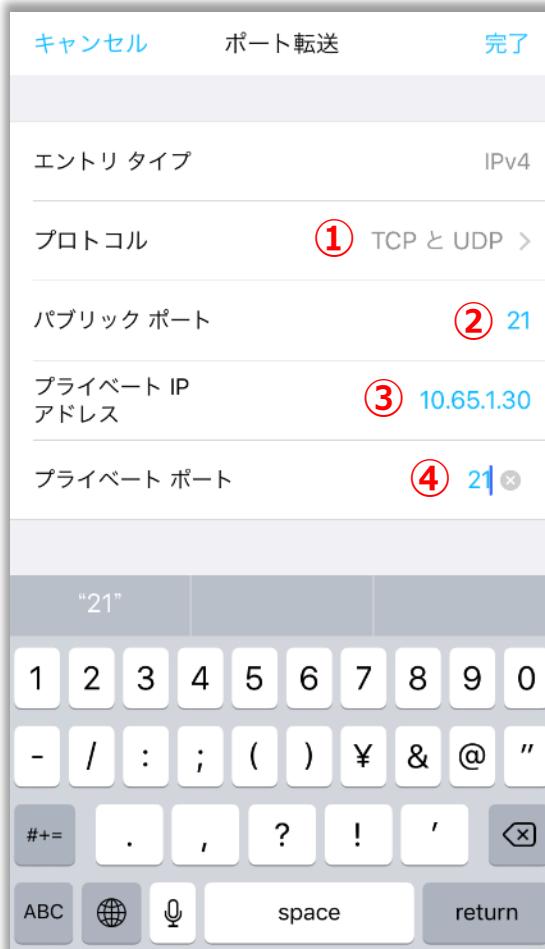
ポート転送設定画面



① 現在設定されているポート転送の一覧
登録したポート転送設定の一覧が表示されます。

② タップでp.10のポート転送の追加設定
画面へ

ポート転送追加設定画面



① プロトコルの設定

プロトコルの設定を選択できます。

② ルーターでの着信ポートを入力

③ 転送先プライベートIPアドレスを入力

④ 転送先ポート番号を入力

設定画面（ハードウェアタブ）



- ① タップでp.7のセキュリティタブへ
- ② タップでp.15のネットワークタブへ
- ③ ルーターの機器情報一覧
ルーターの機器情報が表示されます。
- ④ タップでp.12のルータアップデート
設定画面へ
- ⑤ タップでp.13のLED明るさ設定画面へ
- ⑥ タップでp.14のタイムゾーン設定画面へ
- ⑦ セキュリティルーター再起動
タップするとルーターを手動で再起動できます。

ルータアップデート設定画面



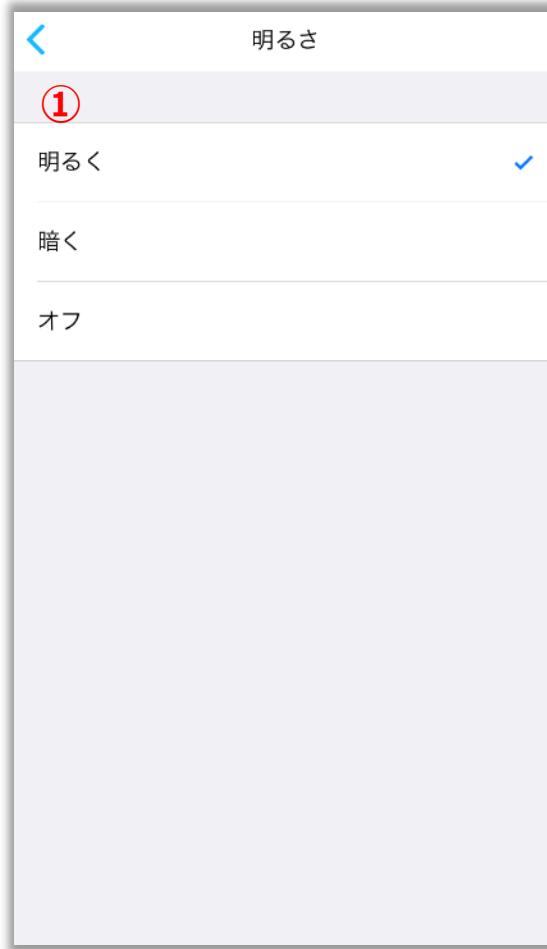
① 自動インストール有効/無効の切り替え

自動インストールが有効な場合、ファームウェアアップデート受信時にすぐに更新が行われます。

② アップデート適用時間設定

アップデートが適用される時間を設定できます。設定は時単位での設定が可能です。

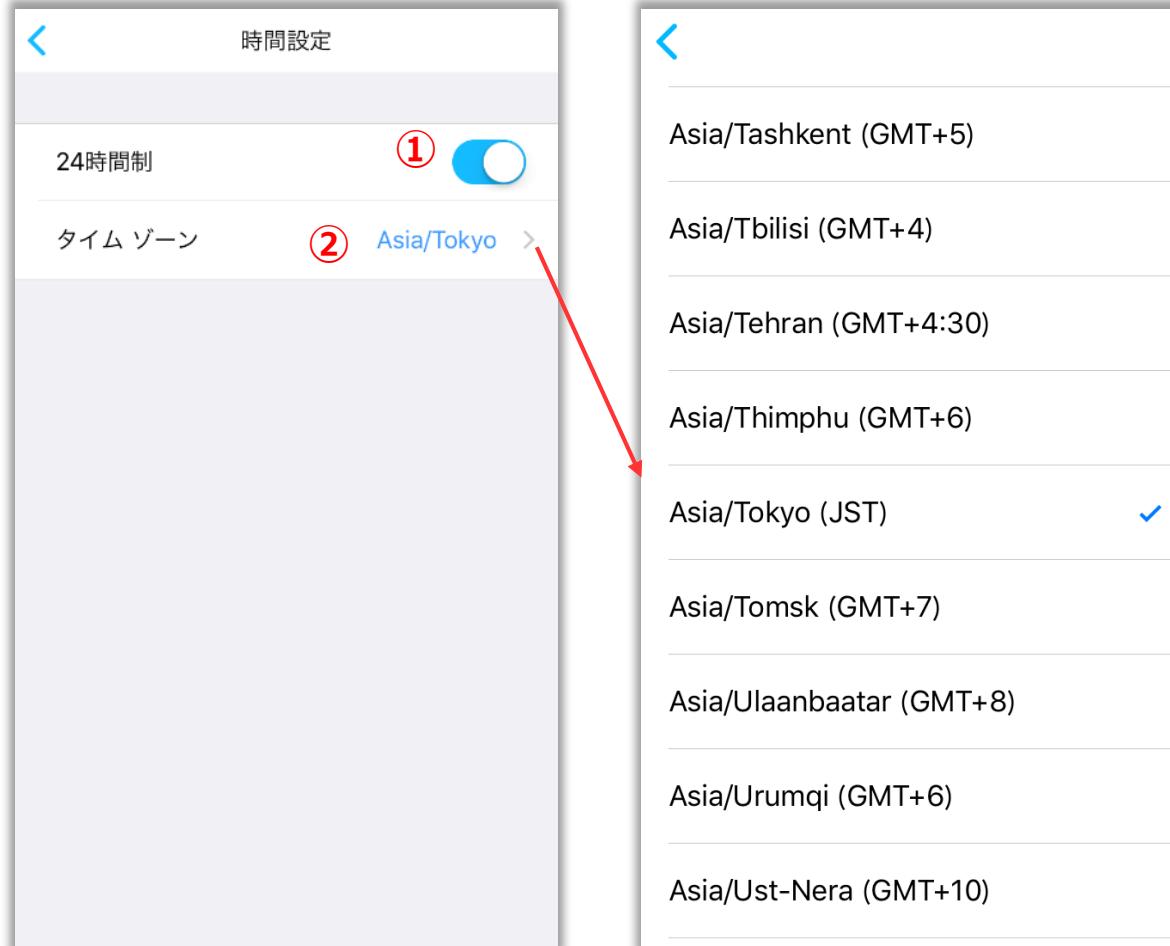
LED明るさ設定画面



①LED明るさ設定

ディスプレイのLEDが選択した明るさになります。

タイムゾーン設定画面



① 24時間制表示への切り替え

オンにすると24時間表示になります。
オフにすると12時間表示になります。

② タイムゾーンの地域変更設定

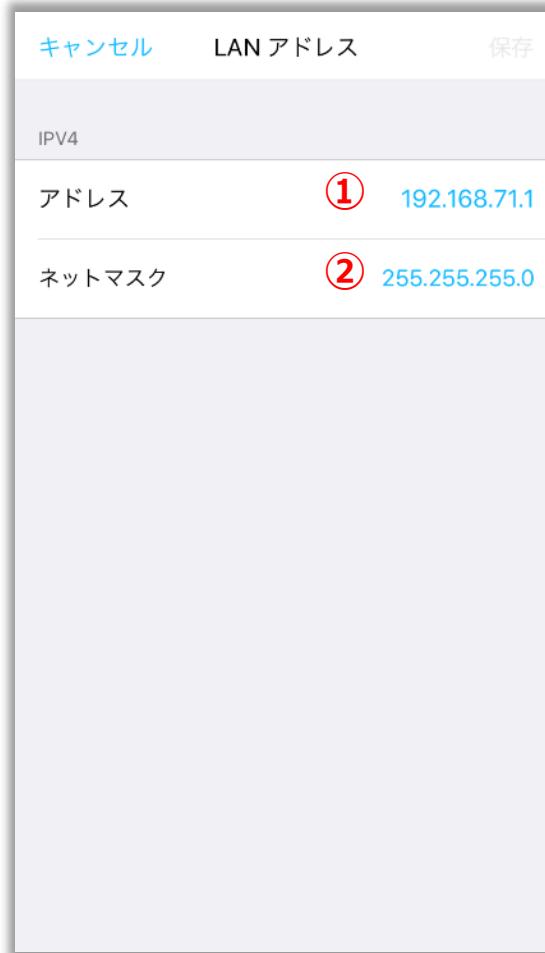
タイムゾーンの地域を選択できます。

設定画面（ネットワークタブ）



- ① タップでp.7のセキュリティタブへ
- ② タップでp.11のハードウェアタブへ
- ③ タップでp.16のLAN IP設定画面へ
- ④ タップでp.17のワイヤレス設定画面へ
- ⑤ タップでp.18のゲストネットワーク設定画面へ
- ⑥ タップでp.19のルーティングモード設定画面へ
- ⑦ タップでp.20のWiFiチャンネル設定画面へ
- ⑧ タップでp.21の接続設定画面へ
- ⑨ タップでp.22のWAN設定画面へ

LAN IP設定画面



① LANアドレスの設定

ルーターのLANアドレスを設定できます。

② LANのサブネットマスクの設定

ルーターのLANのサブネットマスクを設定できます。

ワイヤレス設定画面



①ワイヤレス設定の編集

セキュリティルーターのワイヤレス設定の編集が行えます。

② 2.4GHzネットワーク設定一覧

2.4GHzのネットワーク名（SSID）、
パスワード、非公開設定を表示します。

①をタップすると、それぞれの項目の変更が可能になります。

② 5GHzネットワーク設定一覧

5GHzのネットワーク名（SSID）、
パスワード、非公開設定を表示します。

①をタップすると、それぞれの項目の変更が可能になります。

ゲストネットワーク設定画面

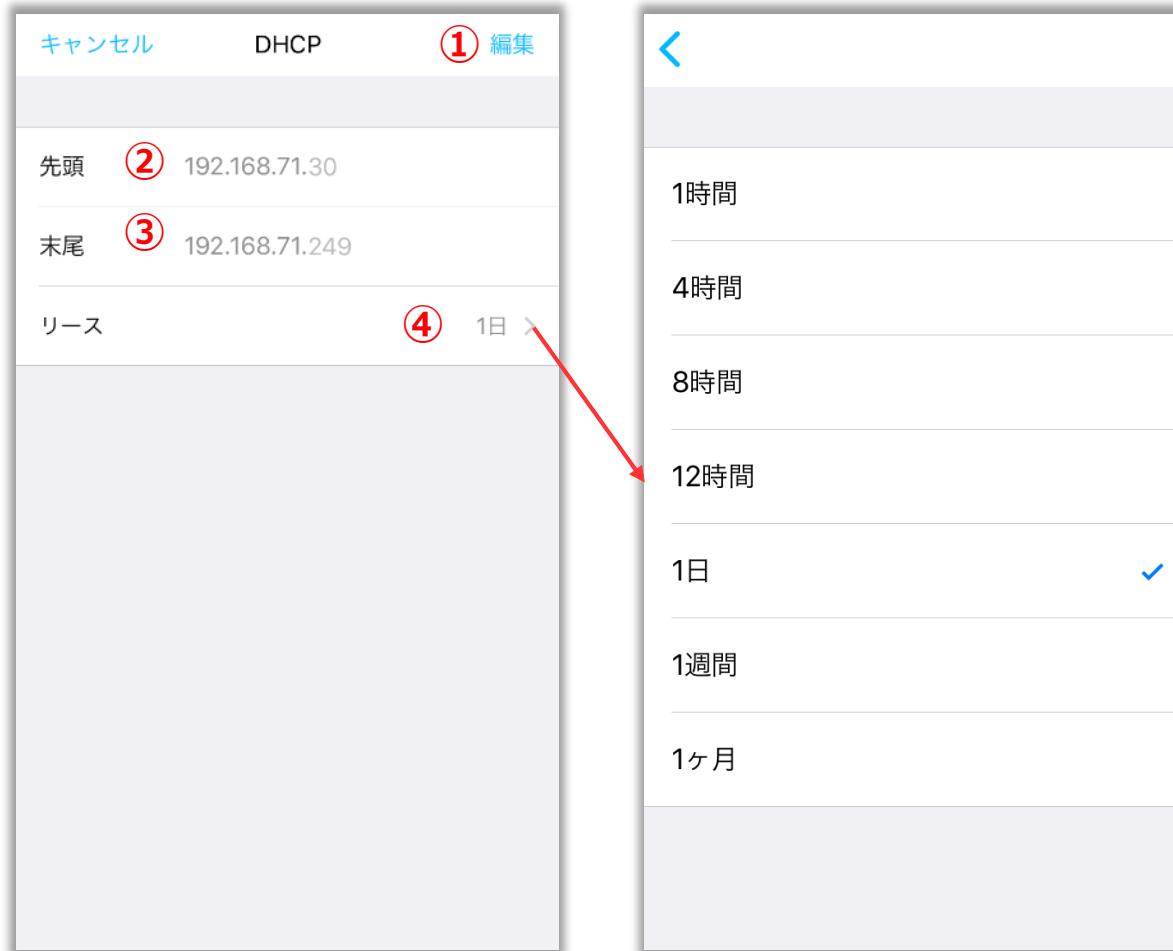


① ゲストネットワークの有効/無効の切り替え
オンにするとゲストネットワークを有効にできます。

② 2.4GHzゲストネットワーク編集
2.4GHzのゲストネットワーク名（SSID）、
パスワード、非公開設定の編集が可能です。

③ 5GHzゲストネットワーク編集
5GHzのゲストネットワーク名（SSID）、
パスワード、非公開設定の編集が可能です。

ルーティングモード設定画面



① ルーティングモード設定の編集

セキュリティルーターのルーティングモードの設定の編集が行えます。

② DHCP払い出しの先頭アドレスの表示/編集

タップすると先頭アドレスの編集が可能です。

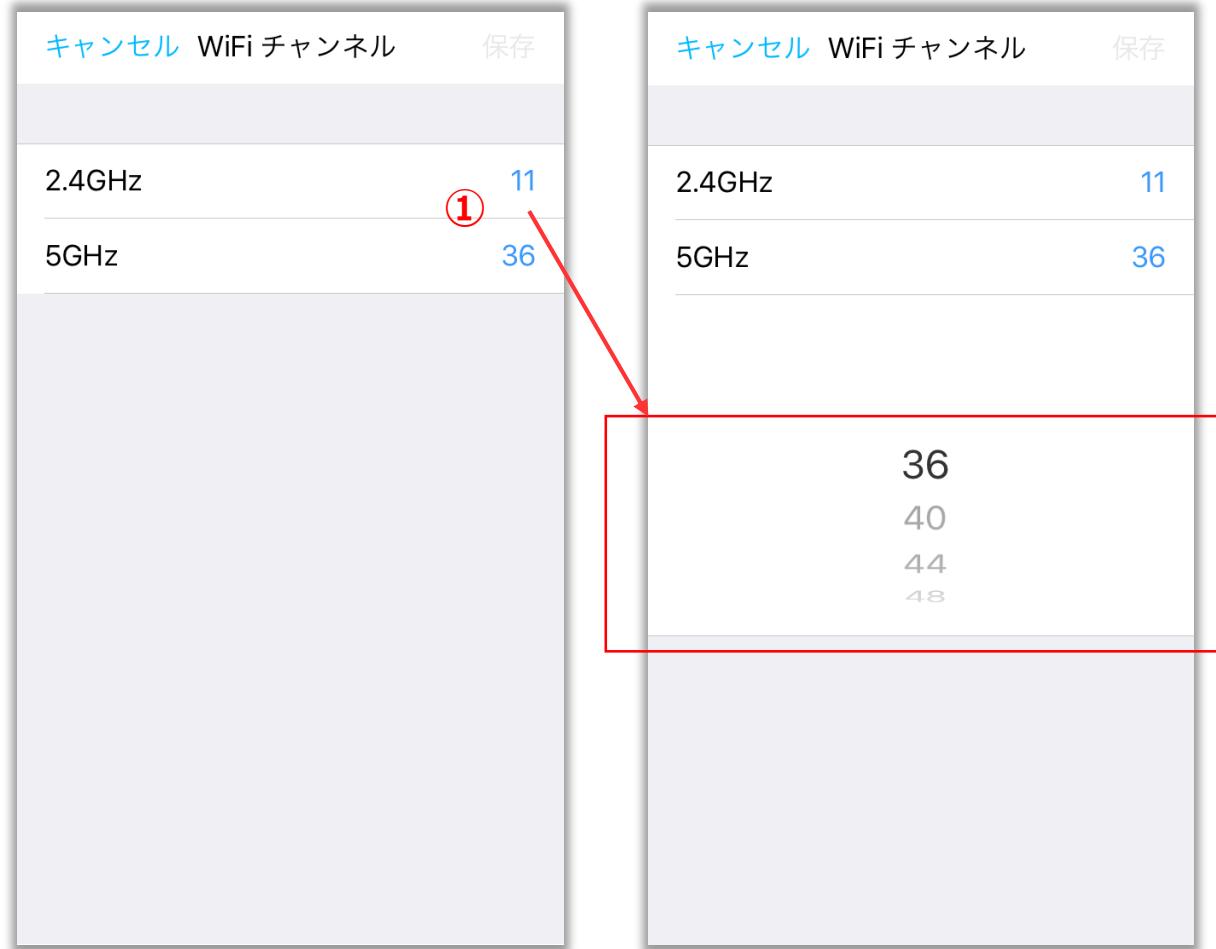
③ DHCP払い出しの末尾アドレスの表示/編集

タップすると末尾アドレスの編集が可能です。

④ DHCPのリース期間の設定

タップすると期間の変更を行えます。

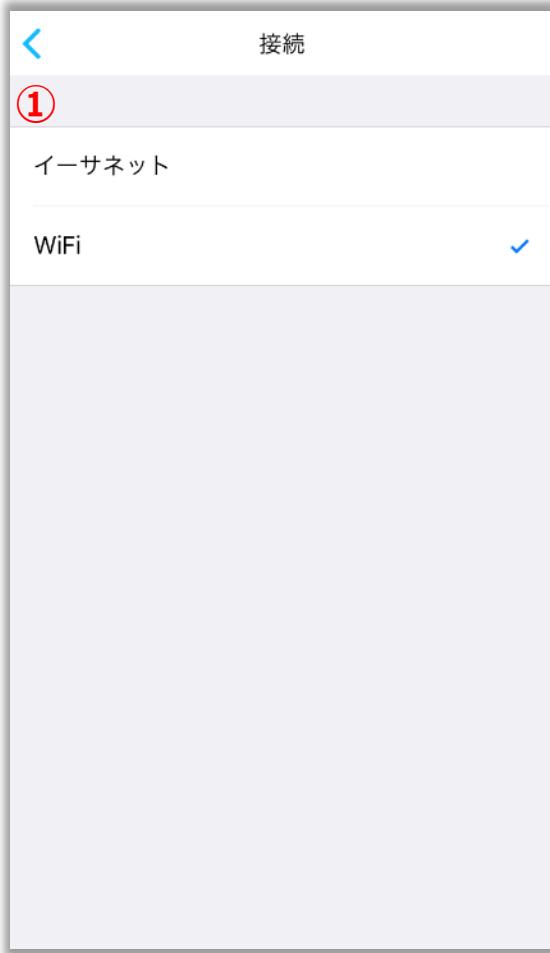
Wi-Fiチャンネル設定画面



① Wi-Fiチャネルの変更

セキュリティルーターのWi-Fiチャネルの設定を変更できます。

接続設定画面



① 接続設定の切り替え

インターネット接続に使用する方法を
イーサネット（有線）またはWi-Fiから
選択できます。接続方法の切り替えも可能です。

WAN設定画面

キャンセル WAN 設定 保存

IPV4

プロトコル	① 自動 (DHCP) >
② アドレス	192.168.100.148
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.100.254
DNS	192.168.100.254

デフォルトの DNS にリセットするには、DNS フィールドをクリアして保存します。

WAN 設定を変更すると、ゲスト ネットワークが無効になります。

キャンセル WAN 設定 保存

IPV4

プロトコル	PPPoE >
③ アカウント	
パスワード	👁
サービス名	(任意)
アドレス	192.168.100.148
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.100.254
DNS	192.168.100.254

デフォルトの DNS にリセットするには、DNS フィールドをクリアして保存します。

WAN 設定を変更すると、ゲスト ネットワークが無効になります。

① WANの接続方法の選択

WANの接続方法を選択できます。

② WANの設定一覧の表示

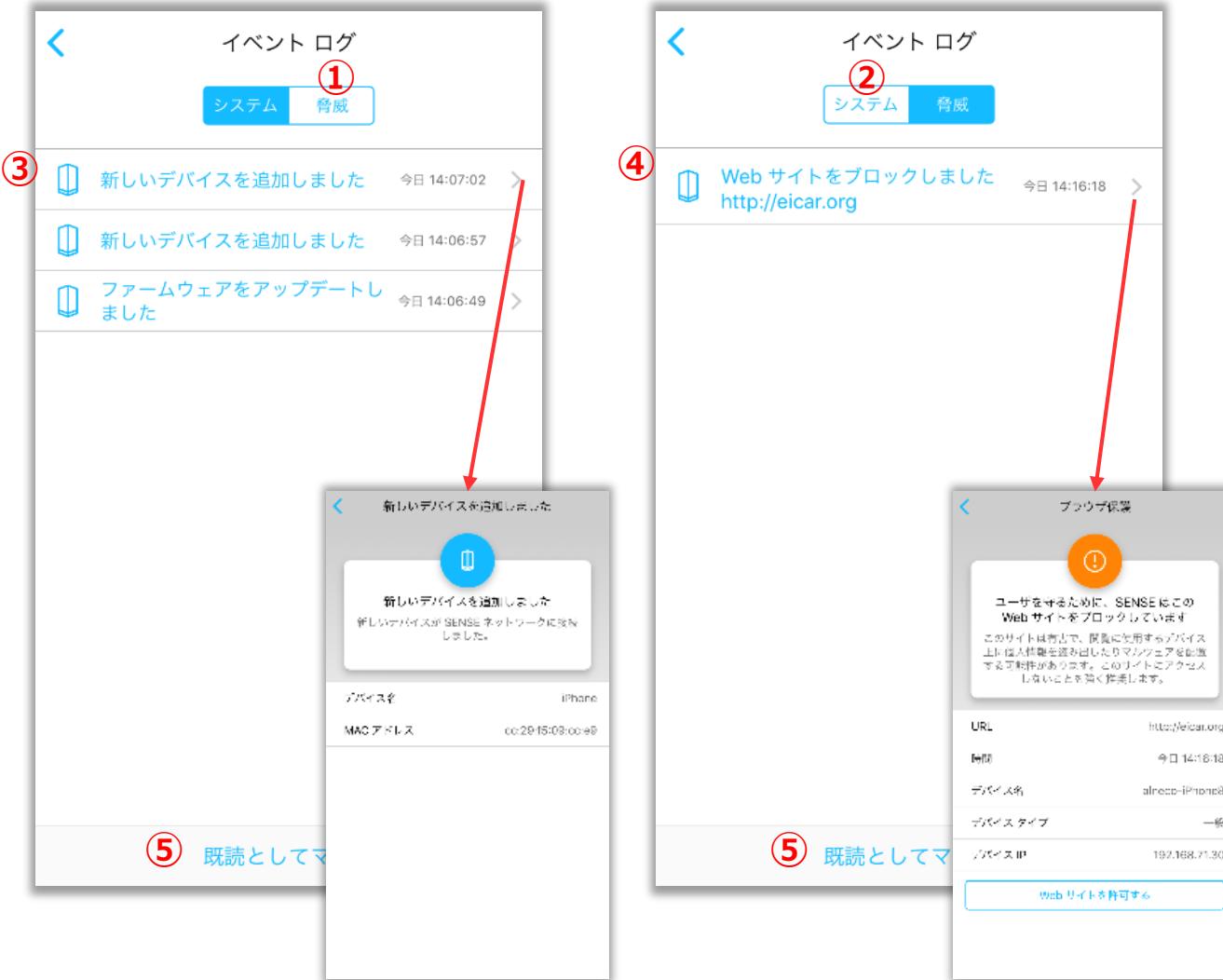
WANの設定の一覧が表示されます。

プロトコルを「手動」にした場合は、アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNSの設定の編集が可能になります。

③ PPPoEのアカウント設定

プロトコルを「PPPoE」にした場合は、ISP接続のアカウントとパスワードの入力が可能になります。

イベントログ画面



プライバシー画面



① アプリケーションのデータ提供の有効/無効を切り替え

ベンダー会社へアプリケーションで使用データ提供の有効/無効の切り替えができます。オンにすると使用されたデータが提供されます。

※提供する使用データに個人情報は含まれません。

② ルーターのデータ提供の有効/無効を切り替え

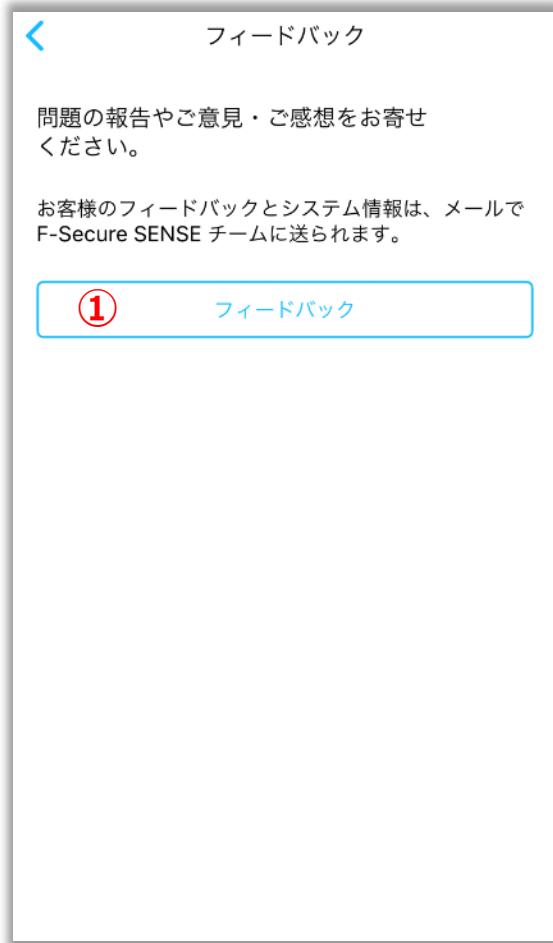
ベンダー会社へのルーターで使用データ提供の有効/無効の切り替えができます。オンにすると使用されたデータが提供されます。

※使用データに個人情報は含まれません。

③ プライバシーポリシーページの表示

タップでブラウザが起動し、F-Secure SENSEのプライバシーポリシーページを表示します。

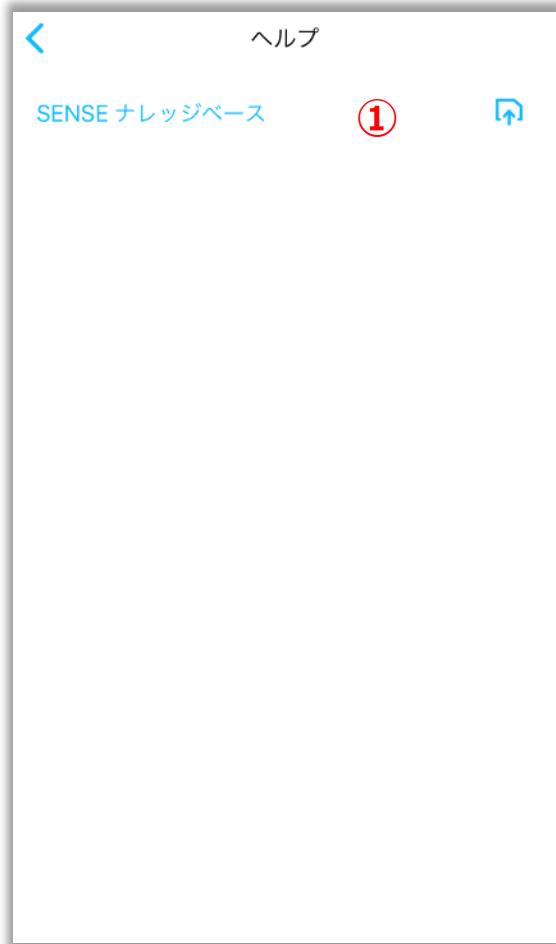
フィードバック画面



① フィードバックの送信

タップするとメーラが起動し、宛先にエフセキュア社のサポートチームのアドレスが自動的に設定されます。また、セキュリティルーターのログが添付されたメールテンプレートが表示されます。

ヘルプ画面



① ナレッジベースのページ表示

タップでブラウザが起動し、セキュリティルーターのナレッジベースページ（英語）を表示します。

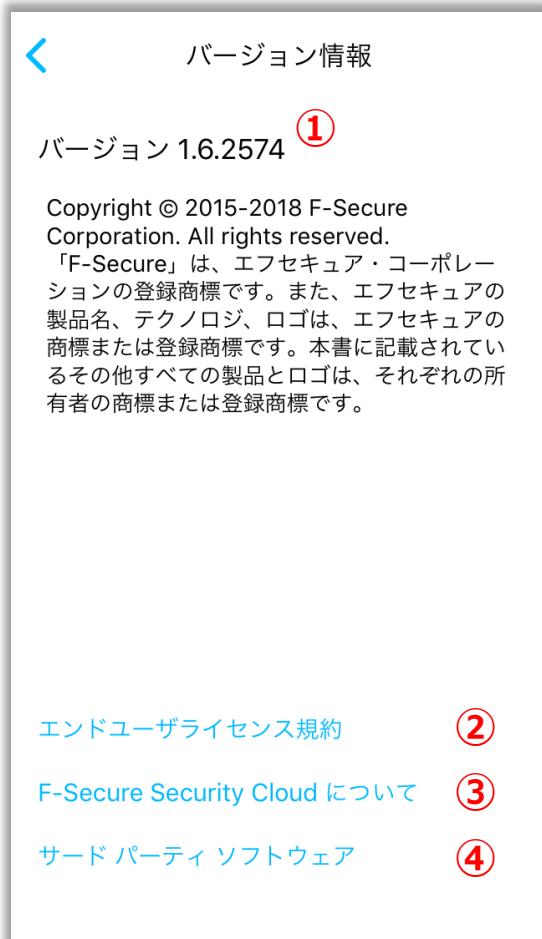
ライセンス画面



① ライセンス情報の表示

現在のラインセンス状態が表示されます。

バージョン情報画面



① バージョン情報表示

現在のバージョン情報を表示します。

② エンドユーザライセンス利用規約の表示

タップでブラウザが起動し、F-Secureのライセンス約款のページを表示します。

③ F-Secure Security Cloud説明ページの表示

タップでブラウザが起動し、F-Secure Security Cloudの説明ページ（英語）を表示します。

④ サードパーティソフトウェア情報の表示

タップでサードパーティソフトウェア情報を表示します。